

結納 Q & A

①結納を行う日取り

しきたりでは、大安や先勝などの吉日の午前中に行うものとされています。しかし現在では、仲人や両家の意向を尋ねたうえで、本人達の都合の良い日を選ぶという傾向になっています。

②場所と形式

1) 仲人が両家を往復する形式

基本的には、両家が直接顔を合わせることはありません。しかし最近では、新帰宅へ向かう場合、新郎が道案内や運転手を兼ねて同行する場合があります。

2) 両家が一堂に会して行う形式

往復の必要がないため、儀式自体は短時間で終了し、その後祝宴を設けます。仲人を立てない場合と立てる場合があります。

- ・新婦宅で行う（仲人なしの場合の一般的な形式です）
- ・新郎宅で行う（養子の場合）
- ・ホテルや料亭を利用する

3) ホテルや結婚式場の「結納プラン」を利用する場合の注意

ホテルや結婚式場では、結納の儀式と祝い膳をパッケージしたプランを用意したところが多くなりました。両家が形式やしきたりにこだわらない場合や、手間をかけたくない場合は、このようなプランを利用するのも良いでしょう。

- ・プランに含まれる内容や設定人数など、会場によって異なります。追加料金で意外と高くなってしまう場合がありますので、セット内容はよく確認しておきましょう。
- ・会場は、十分に下見をしてから決めましょう。

③当日の服装

従来は紋付やモーニング、振袖などの礼服を着用していましたが、現在では賠礼服の着用が多くなっています。出席者全員のバランスを取る事が大切なので両家でよく打ち合わせておきましょう、

- ・新婦……振袖、訪問着、スーツ、ワンピース
アクセサリは、パールやコサージュなど上品なものに
- ・男性……略礼服、紺やグレーのダークスーツに白またはシルバーのネクタイ
- ・女性……色留袖、一つ紋の色無地、訪問着、新婦より控えめのスーツかワンピース

④結納当日の心構えと準備

- 1) 結納を迎える側は、床におめでたい絵柄の掛軸（高砂、日之出、鶴、亀など）を掛け、若松などを生けておくとよいでしょう。
- 2) 結納品を飾る場合、毛せんを敷くと飾りが一層ひきたちます。毛せんは、新郎側が結納飾りと一緒に持参するケースが多くなっています。更に結納品を引き立てるため、金びょうぶを立てる場合もあります。
- 3) 慶事の場合、お茶は「にごす」とか「ちゃちゃを入れる」という意味につながることから、接待に用いるのを避け、桜茶か昆布茶を用意しましょう。紅白や鶴亀といったおめでたい干菓子などを添えるとよいでしょう。
- 4) 結納は、厳粛な儀式のため、儀式が終了するまでは、口上と挨拶程度で言葉を交わさない習慣があります。
- 5) 結婚のあいさつに伺うとき、手土産を用意していきます。新婦にご両親の好物などを聞いてご用意されるか、出身地の名物やお菓子などがよろしいでしょう。金額の目安は3,000円~5,000円くらいがよろしいでしょう。相手宅の近所で買うのは間に合わせに買って来たようで失礼ですから、事前にしっかりと用意しておきましょう。